

令和7年度「大阪IR（統合型リゾート）説明会」（第4回） アンケートによる質問について

●受付件数 20件

	質問	回答
1	特別永住者はパスポートが（例）韓国パスポート しかし、特別永住カード所有者は無料でカジノには入れるの ですか？	入場料については、IR整備法において、日本国内に住居を有しない外国人を除く入場者に対し、 賦課することとされており、大阪IRにおいても、この規定に沿って、入場料を賦課するものです。
2	IRそのものが、なんだか中途半端な施設のように感じま す。特に国際会議場や展示施設は、本当に必要なのか？理由 はインテックス大阪やグランキューブなどがあるからです。	IR施設については、IR整備法において、カジノ施設と、国際会議場施設、展示等施設、魅力増 進施設、送客施設及び宿泊施設から構成される一群の施設であって、民間事業者により一体として設 置され、及び運営されることが要件とされています。 インテックス大阪（大阪国際見本市会場）やグランキューブ大阪（大阪国際会議場）とは異なり、 大阪IRは大規模な国際会議場と展示等施設が一体となった複合型で、また、宿泊施設、飲食・物販・ サービス施設及びエンターテイメント施設等を併設したオールインワン型のMICE施設であり、日 本におけるMICE競争力の向上に寄与するものです。
3	地元企業ですが、建設にあたって提案したい商品がありま す。どこに行けばいいですか？万博の時のような企業向け展 示会などないでしょうか？	IRは、民設民営の事業でIR事業者が建設を行うものであり、建設にあたっての調達についても 適切になされるものと考えています。

4	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震対策についておしえて下さい ・南海トラフが予想されている為、津波や地盤沈下については、いくらクイを打ち、しっかりした建物を建てたとしても本当に大丈夫か。27F 建ての上層階は良いとしても下層階は大丈夫か心配です 	<p>I R 区域の現状地盤高さは O.P.+11m 程度で、地盤沈下を見込んだ 50 年後でも、地盤高さは O.P.+9 m 程度であると推定しており、満潮時の南海トラフ巨大地震における夢洲周辺での津波予測高さ O.P.+5.4m に対しても、十分な地盤高さを確保しています。液状化対策としては、セメント系固化工法により建物直下の約 21ha、改良層厚概ね 3 から 5 m を改良することとしています。また、夢洲へのアクセスとなる夢咲トンネルや夢舞大橋については南海トラフ巨大地震に対する耐震性を確保しています。</p> <p>I R 事業者においては、重要施設の高い耐震性能の確保やエネルギー自立対策等、災害への防災・減災対策に取り組むこととしています。万が一、陸の孤島となるなどの災害等緊急時には、大阪 I R 内の敷地や施設を活用し、安全に退避し一時滞在できる場所の提供や 3 日間以上の備蓄品の保管等、帰宅困難者に対するサポートを行う予定としています。</p>
5	<p>(地域への貢献について)もっと実感のわく具体的な内容を知らせてほしい。</p> <p>国内来訪者数 1,400 万人/年のうち、大阪・近畿圏の来訪はどれくらいとみこんでいるのか？</p>	<p>大阪 I R では、地域の金融機関との連携を通じて、資金面や情報面での支援を提供し、中小企業による大阪 I R との取引関係構築の支援に取り組み、地元企業・中小企業に対して大阪 I R への参入機会を提供し、大阪 I R と取引関係を構築する事業者の裾野を広げるとともに、地元からの調達促進を図っていきます。加えて、地元産品の継続的な調達を通じて、地元企業と持続的な取引を行い、その発展に寄与するとともに、調達先の選定においては、地域の金融機関や経済団体等と連携し、地元企業から積極的な調達を行うこととしています。</p> <p>M I C E 施設においては、「関西イノベーション・ラボ」を設置し、イノベーションの創出やビジネスの国際化の支援などに取り組むとともに、魅力増進施設として設置する「関西ジャパンハウス」では、大阪・関西の伝統産業の発信による地域資源の発掘を、「ジャパン・フードパビリオン」では、豊かな食文化の発信等により地域ブランディングの向上などを図ります。</p> <p>また、大阪 I R が導入する会員ポイントプログラムの活用など、I R 来訪者の地域への送客や周遊促進、地域での消費喚起を図っていくこととしています。</p> <p>I R 区域への来訪者数については、海外、国内（宿泊）、国内（日帰り）で分類しており、国内の来訪者約 1,400 万人のうち、国内（日帰り）の来訪者は約 1,100 万人と見込んでいます。</p>

6	MGMが契約期間中ずっと日本国内においてオンラインギャンブルを行わないのか確約できるのか、その根拠を示してほしい	<p>I R整備法第2条では、「カジノ行為」とは、事業者と顧客、または顧客相互間で、同一の施設において、その場所に設置された機器等を用いて行う行為と定義されており、同法第39条では、「カジノ行為区画」でカジノを行う行為には刑法の規定は適用しないこととなっています。</p> <p>さらに、同法第73条では、事業者はカジノ行為区画のうち、カジノ管理委員会規則で定める部分において行わなければならないと規定されています。</p> <p>以上のように、I R整備法では、カジノ行為ができるエリアは限定されており、大阪I Rにおいては、オンラインによる参加やカジノ施設以外でのカジノ行為はできないこととなっています。</p>
7	今後発展すると見込まれる観光業に人材を集めると言っていたが、その分、社会基盤を担う医りょう・福祉・教育・建設・防災などの人材がけずられるのはやむをえないということか？	<p>人口減少や超高齢化が進み、労働力の減少が懸念される中、様々な領域で人材確保が困難であると認識しているところです。</p> <p>一方で、大阪の更なる成長のためには、今後の市場拡大など将来性が見込まれる成長産業への注力が必要と考えています。世界的にも著しい成長分野であるインバウンドは大きな可能性を有しており、裾野が広い観光産業は日本における基幹産業へと成長するポテンシャルを有し、観光産業には大きなニーズと将来性があります。</p> <p>大阪府・市は、I R整備法に基づき、大阪・関西が有するポテンシャルと民間の創意工夫を最大限活かしつつ、I Rを実現することで、成長産業たる観光分野の基幹産業化を図るとともに、大阪経済の更なる成長を実現し、もって国全体の観光及び経済振興をめざしていきます。</p> <p>大阪I Rの人材確保については、女性、シニア、障がい者など、多様な人材に対する柔軟な働き方や、働きやすい労働環境整備等を通じて、就労層の拡大、就業率の向上をめざしていくこととしています。</p>
8	「タブロイド判広報紙」(22年3月1日に新聞折込み)はHPで公開されていますか？されていないなら公開して下さい。	<p>タブロイド判広報紙については、最新のものを令和8年2月16日に大阪府ホームページに公開いたしました。</p>

9	<p>依存症対策の動画が公開停止になったのは、①府としての認識不足だと考えるがどうか？②700万円もの費用をかけての制作がこうした結果になったのは、組織としてのチェック体制がないのでは？③問題点を公表するのか？</p>	<p>ギャンブル等依存症は、誰でもなり得る病気であると認識のもと、カジノがない現在において喫緊に取り組むべき重要な課題と位置づけ、I R誘致を契機に、既存のギャンブル等を含め依存症問題に正面から取り組んでいます。</p> <p>啓発動画は高校生や大学生等の若年層をターゲットとし、違法オンラインギャンブル等の啓発を目的に作成しましたが、このたび、SNSにおいて、動画の内容に対する意見が多く寄せられていることから、医療関係者等への意見聴取を行ったうえで、今後の対応について検討するため、動画の公開を一時停止することになりました。</p> <p>今後、医療関係者等の意見聴取を行ったうえで、この動画の公表については、改めてお知らせします。</p>
10	<p>マカオでは常識ですが、マネーローンダリングは常識ですが、今回の説明ではマネーローンダリング対策として関係法令を遵守する内部管理体制を構築しと記載がありますが、一体どうやって内部管理体制を構築するのですか？</p>	<p>I R事業者においては、MGMが導入しているマネー・ローンダリング対策をベースに、I R関係法令等を遵守する内部管理体制を構築するとともに、犯罪収益移転防止規程の作成、従業員の教育訓練等を行うこととしています。</p> <p>具体的には、顧客間のチップの譲渡・譲受け、カジノ行為区画外へのチップの持ち出しを防止するため、顧客にこれらの行為を行わない旨の誓約を求めるとともに、カジノ施設における巡回及び監視を行います。また、顧客に対する取引時確認、取引記録の作成・保存等を行うほか、顧客との間で行う100万円超の現金取引や疑わしい取引等について、カジノ管理委員会への届出を行うこととしています。</p>
11	<p>ディーラーは日本人のみの採用ですか？</p>	<p>ディーラーについては、ディーラースクールの卒業生と海外で働く日本人ディーラーを中心に採用し、教育する方針であり、日本では新しく、また、カジノ運営に重要な職種であることから、ディーラースクールと適宜提携しながら、人材確保と教育プログラムの強化に取り組むこととしています。</p>

12	MGMはジャンケットという制度をVIP向けに採用されるのですか？	<p>いわゆる「ジャンケット」については、カジノ管理委員会ホームページの「カジノ管理委員会関係特定複合観光施設区域整備法施行規則案に関する意見の概要及びそれに対するカジノ管理委員会の考え方」において、次のとおり見解が示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる「ジャンケット」等と呼ばれる業者の業態は必ずしも一様ではありませんが、例えば、カジノ事業者からカジノフロアの一部を借り受け、顧客にカジノ行為を行わせるような業態は、カジノ事業免許の趣旨を没却させることとなるため、法においては諸外国において「ジャンケット」等が行っている行為についてカジノ事業者に対する個別の規制を設けており、例えばカジノ行為業務の委託やカジノ施設におけるカジノ事業者以外の者による貸付けは認めないこととしています。
13	広告について、もっと詳しく説明してください(カジノ管理委員会任せですか？勧誘規制、ビラ禁止だけですか？)	<p>カジノ事業に関する広告を行う際は、IR関係法令等に基づき、カジノ行為にのめり込むことにより日常生活又は社会生活に支障が生じるおそれがある旨を表示・説明するとともに、IR区域外では、カジノ事業に関する広告物を表示しないこととしています。</p>
14	JR東海にも株主になってもらうべきではないでしょうか？	<p>大阪IRの事業者であるMGM大阪株式会社の構成員は、中核株主となる合同会社日本MGMリゾートとオリックス株式会社、そして関西の地元企業を中心とする少数株主22社から構成されていますが、その構成については、事業者で検討の上で判断されるものと認識しています。</p>
15	リニア中央新幹線を直接IRに入れるべきだと思います。在来線、新大阪～桜島～夢洲とは別にアクセスを充実させるべきではないですか？	<p>リニア中央新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づいて計画された、東京都を起点、大阪市を終点とする新幹線鉄道であり、JR東海(東海旅客鉄道株式会社)が建設主体となっています。</p> <p>なお、市中心部から夢洲への鉄道アクセスとしては、令和7年1月に大阪メトロ中央線を延伸し、夢洲駅が開業しています。また、更なる鉄道アクセスとして、JR桜島線延伸(桜島～舞洲～夢洲)や京阪中之島線延伸(中之島～九条)の検討を行っており、今後、建設計画や運行計画等の検討の深度化が図られる予定です。</p>
16	IRの工事見学会はできませんか？	<p>IRの工事現場への見学については、IRは民設民営事業であって、民間事業者による建設工事であること、現場の安全管理やセキュリティ対策、工事工程への影響といった観点から受入対応は行っておりません。</p>

17	<p>ギャンブル依存症対策でセンターを設置されるようですが、専用施設は作られるのか？（医療機関への紹介だけでなく）</p>	<p>「(仮称) 大阪依存症対策センター」においては、ギャンブル等依存症のリスクがある者に対して、それぞれの背景や事情に寄り添い、社会的な問題に包括的に対応できる体制を構築して、医療、福祉、司法や民間支援団体等につなぐ役割を担っています。</p> <p>また、無関心層にも将来のリスクに備え、相談しやすい雰囲気づくりや、来所しやすくなる相談・医療・回復へのワンストップ支援や普及啓発・情報発信などの分かりやすいコンテンツを準備するなどして、府民が利用しやすいセンターをめざしています。</p>
18	<p>2025 年の訪日外国人が最多であったということだが、カジノが無くて人も来るといふこと。カジノ目当てに来る人は、本当に 5,200 億円も負けてくれるか？</p>	<p>I R は、民設民営事業として、MGM・オリックスの中核企業 2 社に加えて、大阪・関西を中心とした企業 22 社が自らの出資や金融機関からの借入れにより資金調達を行い、リスクを負って 1 兆円を超える投資を行うものであり、事業計画の立案にあたっては、慎重に検討・精査されているものと認識しています。</p> <p>来訪者数等の効果推計については、I R 事業者において、人口統計や訪日外客統計等の統計情報、既存の I R 施設や近畿圏及び日本国内にある集客施設等の実績・知見等を踏まえて推計されており、また、それらの来場者数を踏まえて売上等が見込まれているものです。</p> <p>なお、大阪 I R におけるゲーミングの年間売上は約 4,200 億円であり、ノンゲーミングも加えた大阪 I R 全体での年間売上が約 5,200 億円となっています。</p>
19	<p>夢洲のドロドロ地に杭を打つということですが、この杭の値段は 1 本何円で、合計何本打ち込む予定ですか？</p>	<p>I R は、民設民営の事業であり、I R 建設工事の工事内容については法人等情報等に該当するため、公開しておりません。</p>

20	<p>質問ですが、展示等施設はインテックス大阪と重なる部分だと思いますが、現状はどのように棲み分けを考えられていますか？また、大阪・関西万博を思い起こさせる「ミyakumiyak」を活用した施設は建設されるでしょうか？</p>	<p>大阪IRでは、大規模な国際会議場と展示等施設が一体となった複合型で、また、宿泊施設、飲食・物販・サービス施設及びエンターテイメント施設等を併設したオールインワン型のMICE施設を整備することにより、これまで国内で開催されてこなかった世界規模のMICEや都市格向上につながる政府系会議等、経済波及効果が高く見込まれるMICEを誘致・開催するとともに、各主要MICE拠点との連携等を行います。</p> <p>また、インテックス大阪をはじめとする他の展示等施設に、開催日程の重複、展示会の規模、展示会の内容等に応じて、催事の紹介又は共催の提案等を行うことで、大阪での展示会開催機会の拡大につなげ、また、大阪IRがアフターMICEのコンテンツとしてエンターテイメントを提供する等、幅広い連携を進めていくこととしています。</p> <p>夢洲第1期（IR区域）の区域整備計画において、「ミyakumiyak」を活用した施設は計画していませんが、「未来社会の実験場」という大阪・関西万博のコンセプトを継承し、社会課題の解決及び府民の生活の質（QOL）向上につながるまちづくりを進めることとしており、広大で多くの交流人口を生む夢洲の特性を活かして最先端技術の実証・実装の場を設けるとともに、SDGsの達成に貢献するサステナブルなIRをめざすこととしています。</p> <p>なお、夢洲第2期区域においては、万博の理念を継承したまちづくりを行うこととしています。</p>
----	---	--